

平成22年3月期 第1四半期決算概要

1. 連結決算(21年4月~6月)

(1) 概要 (単位:百万m³、億円、円、%)

	当四半期	前年同期	増減	増減率(%)	個別決算	連単倍率
ガス販売量	3,082	3,454	△372	△10.8	2,983	—
売上高	3,424	3,771	△347	△9.2	2,987	1.15
営業利益	502	174	328	187.1	462	1.09
経常利益	523	160	363	226.0	483	1.08
四半期純利益	332	164	168	102.3	315	1.05
1株当たり当期純利益	12.25	6.21	6.04	97.3	11.63	—
ROA (%)	1.9	1.0	0.9ポイント	—	2.2	—

(注) 連結会社数:連結子会社60社・持分法適用関連会社4社

- 売上高は、ガス売上が販売量の△10.8%減等により△9.0%減の2,642億円となったこと等から△9.2%減の3,424億円となりました。
- 営業費用は、ガス原材料費が減少したこと等により△18.8%減の2,922億円となりました。この結果、営業利益は187.1%増の502億円となり経常利益は226.0%増の523億円となりました。
- 四半期純利益は、前年同期にリース会計基準影響額他94億円の特別利益の計上があったため、102.3%増の332億円となりました。

(2) ガス販売量

		当四半期	前年同期	増減	増減率(%)		
お客さま件数		千件	10,539	10,397	142	1.4	
ガス販売量	家庭用	百万m ³	829	874	△45	△5.2	
	業務用	商業用	百万m ³	449	461	△12	△2.6
		その他用	百万m ³	203	187	16	8.4
	工業用	百万m ³	1,195	1,489	△294	△19.7	
	計	百万m ³	1,847	2,137	△290	△13.6	
	他事業者向供給	百万m ³	406	443	△37	△8.3	
	合計	百万m ³	3,082	3,454	△372	△10.8	
平均気温		℃	19.4	18.2	1.2	—	

(注1) 販売量は45MJ/m³表記としております。(注2) その他用:公用・医療用

- 家庭用需要は、気温が高く推移した影響等により△5.2%減少いたしました。
- 商業用需要は、前年同期に比べて気温が高く推移した影響で給湯需要が減少したこと等により△2.6%減少し、その他用は新規設備の稼働等により8.4%増加いたしました。
- 工業用需要は、既存設備の稼働減等により△19.7%減少いたしました。
- 他事業者向供給は、供給先事業者の需要減等により△8.3%減少いたしました。

(3) 部門別の概況

(単位:億円)

	売上高		増減	増減率(%)	営業利益		増減	増減率(%)
	当四半期	前年同期			当四半期	前年同期		
ガス	2,642	2,904	△262	△9.0	621	291	330	112.9
ガス器具	249	266	△17	△6.1	2	7	△5	△65.9
受注工事	81	97	△16	△15.8	△8	△5	△3	—
不動産賃貸	85	88	△3	△4.1	22	25	△3	△12.4
その他	683	768	△85	△11.0	23	14	9	59.0

(注) 売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には配賦不能営業費用を含んでおりません。

(4) 主要計数(その1)

	当四半期	前年同期	増減	増減率(%)
原油価格(\$/bbl)	52.52	109.92	△57.40	△52.2
為替レート(円/\$)	97.36	104.56	△7.20	△6.9
原材料費等(億円)	1,066	1,705	△639	△37.4
営業キャッシュフロー(億円)	680	491	189	38.4
設備投資(億円)	296	301	△5	△1.8

主要計数(その2)

	当四半期	前年同期	増減	増減率(%)
有利子負債(億円)	5,689	5,932	△243	△4.1
支払利息等(億円)	27	26	1	2.9
その他有価証券評価益(億円)	301	183	118	64.5

(注1) 営業キャッシュフロー=当期純利益+減価償却費 (注2) 有利子負債、その他有価証券評価益は21年3月期との比較

2. 東京ガス個別決算(21年4月~6月)

収支概要 (単位:億円)

収益		増減	増減率(%)	費用		増減	増減率(%)	
ガス売上	2,564	△270	△9.5	営業費	売上原価	1,100	△638	△36.7
				販管費	1,023	43	4.3	
				計	2,124	△594	△21.9	
その他売上	受注工事	71	△14	△16.5	受注工事	77	△12	△13.9
	器具販売他	193	△36	△15.7	器具販売	175	△35	△16.3
	附帯事業	158	△45	△22.2	附帯事業	147	△56	△27.5
	計	422	△95	△18.4	計	400	△102	△20.4
総売上高	2,987	△365	△10.9	総費用	2,524	△697	△21.6	
				営業利益	462	332	254.2	
営業外収益	52	10	24.9	営業外費用	31	△25	△44.6	
				経常利益	483	367	316.6	
特別利益	—	—	—	特別損失	—	—	—	
				四半期純利益	315	237	302.7	

3. 通期(22年3月期)の業績予想

前回の業績予想に対して、直近の原油高を反映し、通期の原油価格見通しを65.63\$/bbl(7月以降70.00\$/bbl)、為替レート見通しを95.59円/\$ (7月以降95.00円/\$)に変更いたしました。その結果、東京ガス個別の業績予想についてはガス販売量は△0.6%減少するものの、原料費調整制度の単価調整等によりガス売上高は270億円増加しますが、原材料費についても266億円増加すること等により、経常利益500億円、当期純利益330億円はともに前回の業績予想から変更いたしておりません。連結の業績予想においては、個別の業績予想の修正を反映させております。

(単位:百万m³、億円)

	連結決算				個別決算			
	通期業績予想	対前年増減	増減率(%)	対前回増減	通期業績予想	対前年増減	増減率(%)	対前回増減
ガス販売量	13,389	△552	△4.0	△77	12,864	△725	△5.3	△77
総売上高	14,140	△2,461	△14.8	330	12,120	△2,361	△16.3	330
ガス売上高	10,411	△2,164	△17.2	270	10,080	△2,177	△17.8	270
その他売上高	3,729	△296	△7.4	60	2,040	△184	△8.3	60
営業利益	720	68	10.4	△10	520	95	22.2	△10
経常利益	640	57	9.7	0	500	102	25.4	0
当期純利益	420	3	0.7	0	330	80	31.5	0

<前提となる経済フレーム>

	今回通期見通し	対前年増減	増減率(%)	対前回増減	増減率(%)
原油価格(\$/bbl)	65.63	△24.89	△27.5	15.63	31.3
為替レート(円/\$)	95.59	△5.12	△5.1	△4.41	△4.4

(注1) 原油価格:前年実績90.52\$/bbl、前回見通し50.00\$/bbl

(注2) 為替レート:前年実績100.71円/\$、前回見通し100.00円/\$